

「県民協働による事業改善」点検結果と対応状況（要点）

教育再生プロジェクト	
目 標	子どもたち一人ひとりが、学力や体力、人間性を身に付け、自らの人生を切り拓き、社会に貢献できる人材として育つとともに、県民誰もが生涯にわたる学びを通じて自己を磨き、豊かな人生を送ることができる教育県をめざします。
アクション（抜粋）	<p>○学力・体力の向上と多様な学習機会の提供 子どもたちの学力や体力を向上させるとともに、一人ひとりの個性に合った多様な学習機会を提供します。</p> <p>○農林業体験など体験活動の推進 子どもたちの社会性や自主性を育むため、小・中・高等学校で農林業体験、福祉体験、就業体験など様々な体験活動を推進します。</p> <p>○生涯にわたる学びの環境整備 生涯にわたる学びや学び直しができる環境整備を進めます。</p>

<>は人件費込の額（単位：千円）

アクション	事業名 (担当部課)	H27 当初予算案	H26 当初予算額	点検結果		主な対応内容	主な増減 (下線は点検結果を反映したもの)	
				主な区分	主な内容			
点検対象事業の対応状況等	学 力・体 力 の 向 上 と 多 様 な 学 習 機 会 の 提 供	A-1 活用方法選択型教員配置事業 (H27は信州少人数教育推進事業に名称変更) (教育委員会事務局義務教育課)	4,651,200 <4,667,716>	4,753,200 <4,769,716>	見直し(拡大):9	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業規模の拡大</li> <li>教員配置と指導の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員の配置と指導に関する施策が一体的に行われるよう、関係課が連携して事業を推進する体制を整えます。</li> <li>・より少人数な学習集団による指導・支援を試行的に行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△102,000</li> <li>・児童・生徒数の減少に伴う減</li> </ul>
	農 林 業 体 験 な ど 体 験 活 動 の 推 進	A-2 キャリア教育支援事業 (H27はキャリア教育推進事業に名称変更) (教育委員会事務局教学指導課)	34,785 <51,301>	10,229 <26,745>	見直し(拡大):5 見直し(維持):4	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生に対する社会体験や就業体験を戦略的に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農林業体験などの就業体験について、学校に対する支援の充実や効果的な実施方法を検討していきます。</li> <li>・高校生の要望に応じた就業体験先を確保するための体制を整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3,338</li> <li>・アドバイザー配置による増</li> <li>1,017</li> <li>・高校カリキュラム改革、就業体験保険料補助等による増</li> <li>20,201</li> <li>・スーパープロフェッショナルハイスクール設置による増</li> </ul>
	生 涯 に わ た る 学 び の 環 境 整 備	C-7 生涯学習推進センター事業 (教育委員会事務局文化財・生涯学習課)	15,171 <31,687>	15,689 <32,205>	見直し(拡大):5 見直し(縮小):4 見直し(維持):4 市町村での実施:4	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターのあり方の検討</li> <li>・地域課題、県政課題に対応した研修講座の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度から来年度前半にかけて、社会教育や生涯学習の振興について県が果たすべき役割や、生涯学習推進センターの必要性を含めたあり方について検討します。</li> <li>・必要性が低いと指摘のあった研修講座を廃止・移管するとともに、市町村や公民館支援となる講座や県政課題に関する講座を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△518</li> <li>・事業費のうち、センターの運営経費(光熱水費、人件費等)を除く研修事業費の見直しに伴う減</li> </ul>